

事業者向 児童発達支援自己評価表(2022年度)

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	1	・使用しないバギーや座位保持椅子は、室外に保管する等スペースの確保をしています。
	2	職員の配置数は適切であるか	7		
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	7		・環境について職員間で話し合い常に改善を繰り返しています。 ・児童がいざりやずり這いで移動できるよう、床面の消毒や動線の確保をしています。 ・年少児が遊びやすいようおもちゃ棚などの位置を変更し、自由に遊べるスペースづくりをしました。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	7		・消毒など、感染対策も徹底して行っています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	7		・より良い環境づくりや支援方法構築のため、チームで振り返りを実施しています。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7		・評価をもとに、自事業所の支援について、振り返りをしています。部門会議で話し合い改善につなげています。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7		・ホームページ掲載と紙面で保護者に配布をしています。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		7	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7		・コロナ禍の対応として、少人数で複数回の研修を実施し全員が参加できるようにしています。 ・事業所のみならず法人全体の研修もあり、学ぶ機会が多くあります。 ・内部研修だけでなく、外部研修にも参加し、伝達研修も実施しています。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	7		
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		7	・全員に詳細なアセスメントを取っています。標準化されたツールを使用しているのは、数名。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7		・毎朝ミーティングを行い、支援計画の内容を確認しています。 ・前回利用時の様子を把握し、その日の体調に合わせて、無理のない計画実行としています。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7		・月ごとに担当決め、チームで話し合いを行っています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7		・毎月必ず新しい活動をひとつ以上取り入れるようにしています。 ・週ごとに話し合いをしています。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	7		・集団療育、個別療育それぞれで得られる効果を考え、計画を作成しています。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7		・毎朝のミーティングで情報の共有や役割について確認しています。 ・ミーティングにて役割を明確にしています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7		・支援終了後に行っています。難しい場合は、翌日の朝に必ず行っています。 ・ミーティングや業務日誌、PCでのケース記録の確認などで共有をしています。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7		・業務日誌に簡易的に記録をし、PCに詳細を入力しています。日誌をもとに情報共有し、新たな支援方法の検討など毎日実施しています。
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	7		・児童発達支援管理責任者だけでなく、担当職員も同席しモニタリングを実施し見直しをしています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	7		・必要に応じ、相談支援専門員を中心に関係機関と連携し支援をしています。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	7		・病院のワーカーや相談支援専門員を中心に関係機関と連携し支援をしています。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	7		・何かあれば、小児科医や小児科病棟に連絡を取れるようになっています。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7		・担当者会議や電話連絡、紙面等で情報を共有し相互理解を図っています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7		・申し送り書を作成し、情報共有を図っています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7		・医ケア児支援センターと連携を図っています。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		7	・コロナ前は実施していたが、現在は実施できていません。状況を見て再開したいと考えています。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	7		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7		・連絡ノート等に写真を貼り、状況をわかりやすく共有しています。 ・ドキュメンテーションを個人ごとに作成し、支援計画の振り返りを実施しています。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っているか		7	・ご家族から相談があった場合に助言をしています。システムとしては動いていません。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	7		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	1	・相談をお受けたした場合には、多職種で話し合い、お応えするようになっています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	7		・医ケア児や重心児の親の会を開催しています。感染対策を行いつつ、芋煮会を実施しました。 ・クラージュを卒業した児童の参加もありました。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7		・必要に応じ、迅速に対応しています。関係機関と連携して実施しています。 ・苦情受付等担当の周知をしています。何かあれば、いつでもご相談ください。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7		・広報紙は写真を多くし、目で見て分かりやすい工夫をしています。 ・Instagram、Facebook、ブログ等のSNSでも発信しています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	7		・毎年研修会を実施しています。
児童発達支援事業所	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7		・実際の支援用品や写真をお見せしながら情報伝達をしています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		7	・コロナ禍で今年度は開催が難しかったものの、コンサート開催時には、地域の方も数名お越しになれます。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	7		・マニュアルをもとに委員会を中心に研修会を実施しています。防災訓練も実施しています。 ・実施した内容については広報誌等で保護者にお伝えしています。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7		・防災計画にそって委員会を中心に実施しています。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	7		・契約時、てんかん発作の様子、緊急時の対応方法についても聞き取りを行っています。 ・薬の種類、量などに変更があった場合には、随時お薬手帳の提示をお願いし確認をしています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	1	・医師からの指示書はありませんが、保護者から聞き取りを行い、厨房職員と共有し対応しています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7		・随時ヒヤリハットを全職員で共有し、事故発生を未然に防ぐ取り組みをしています。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7		・虐待防止、身体拘束廃止、疑似体験等の研修会を実施しています。 ・不適切ケアのチェックリストを年2回実施し、職員間で虐待につながらないように啓発をしています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	7		・身体拘束は行いません。